

パターンNo.	説明
1	新規に年間の高額介護（予防）サービス費給付実績交換情報を提出
2	年間の高額介護（予防）サービス費給付実績交換情報を提出後、修正情報を提出
3	年間の高額介護（予防）サービス費給付実績交換情報を提出後、取消情報を提出

年間高額介護（予防）サービス費給付実績交換情報作成パターン

給付実績交換情報を送付する際の各項目設定内容について以下にパターン例を挙げる。

パターン1 新規に年間の高額介護（予防）サービス費給付実績交換情報を提出

●設定内容例

同一世帯内で介護予防サービス、総合事業サービスを受給しており、2017年度（2017年8月サービス提供分～2018年7月サービス提供分）における、介護給付にかかる年間の高額介護（予防）サービス費、総合事業にかかる年間の高額介護（予防）サービス費の給付実績交換情報を新規に送付する場合、以下例のとおり提出する。

例1）同一世帯の被保険者が介護予防サービス、総合事業サービスを受給し、年間高額介護（予防）サービス費の支給が発生した場合、以下例のとおり給付実績交換情報を提出する。

給付実績情報（登録済情報）

入力識別番号	レコード種別番号	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
登録なし											



入力情報 給付実績交換情報

入力識別番号	レコード種別コード	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
3412	09	1:新規	990001	9900000001	201708	2:償還	20181010	20181020	480000	33600	201811
3422	15	1:新規	990001	9900000002	201708	2:償還	20181010	20181020	36000	36000	201811

審査年月には保険者にて情報作成した年月を設定する。

介護給付にかかる年間の高額介護（予防）サービス費の入力識別番号には「3412」、レコード種別コードには「09」を設定する。
総合事業にかかる年間の高額介護（予防）サービス費の入力識別番号には「3422」、レコード種別コードには「15」を設定する。

2017年度（2017年8月サービス提供分～2018年7月サービス提供分）の場合、「201708」を設定する。

受付年月日には被保険者から年間高額介護（予防）サービス費の申請を受付けた日を設定する。
決定年月日には保険者にて年間高額介護（予防）サービス費の支給を決定した日を設定する。

支給額には保険者にて支給決定した金額を設定する。

介護給付にかかる年間の高額介護（予防）サービス費の利用者負担額には介護分の自己負担額（高額（予防）サービス費として支給した金額は除いた後の金額）を設定する。
総合事業にかかる年間の高額介護（予防）サービス費の利用者負担額には総合事業分の自己負担額（高額介護サービス費相当事業として支給した金額は除いた後の金額）を設定する。



給付実績情報（給付実績交換情報登録後）

入力識別番号	レコード種別番号	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
3412	09	1:新規	990001	9900000001	201708	2:償還	20181010	20181020	480000	33600	201811
3422	15	1:新規	990001	9900000002	201708	2:償還	20181010	20181020	36000	36000	201811

【年間の高額介護（予防）サービス費給付実績交換情報の提出タイミングについて】

平成29年7月3日全国介護保険担当課長会議資料「介護保険計画課「3 介護保険制度改正における費用負担に関する事項等について」にて、各制度の適用順序が記載されており、年間の高額介護（予防）サービス費の計算後に高額医療合算介護（予防）サービス費を計算する事が示されている。

よって、高額医療合算介護（予防）サービス費の支給における動契通知作成のための自己負担額確認情報に反映させるためには、国保連合会と調整の上、高額医療合算介護（予防）サービス費の計算前に年間の高額介護（予防）サービス費給付実績交換情報を提出する必要がある。

※

平成30年9月より国保連システムにて、介護給付にかかる年間の高額介護（予防）サービス費、総合事業にかかる年間の高額介護（予防）サービス費の給付実績交換情報の受付が可能

例2) 被保険者が介護予防サービス、総合事業サービスの両方を受給し、年間高額介護(予防)サービス費の支給が発生した場合、以下例のとおり給付実績交換情報を提出する。

給付実績情報(登録済情報)

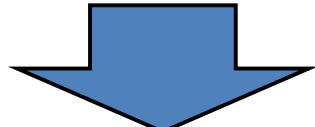
入力識別番号	レコード種別番号	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
登録なし											



入力情報 給付実績交換情報

入力識別番号	レコード種別コード	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
3412	09	1:新規	990001	9900000001	201708	2:償還	20181010	20181020	480000	33600	201811
3422	15	1:新規	990001	9900000001	201708	2:償還	20181010	20181020	36000	36000	201811

介護給付にかかる年間の高額介護(予防)サービス費、総合事業にかかる年間の高額介護(予防)サービス費の2レコードを作成し、給付実績交換情報を提出する。



給付実績情報(給付実績交換情報登録後)

入力識別番号	レコード種別番号	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
3412	09	1:新規	990001	9900000001	201708	2:償還	20181010	20181020	480000	33600	201811
3422	15	1:新規	990001	9900000001	201708	2:償還	20181010	20181020	36000	36000	201811

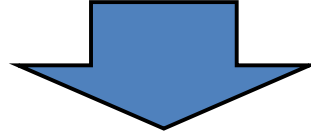
パターン2 年間の高額介護（予防）サービス費給付実績交換情報を提出後、修正情報を提出

●設定内容例

既に提出済である2017年度（2017年8月サービス提供分～2018年7月サービス提供分）の給付実績交換情報に対して修正情報を送付する場合、以下例のとおり提出する。

給付実績情報（登録済情報）

入力識別番号	レコード種別番号	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
3412	09	1:新規	990001	9900000001	201708	2:償還	20181010	20181020	480000	33600	201811
3422	15	1:新規	990001	9900000002	201708	2:償還	20181010	20181020	36000	36000	201811



入力情報 給付実績交換情報

入力識別番号	レコード種別コード	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
3412	09	2:修正	990001	9900000001	201708	2:償還	20181110	20181120	478000	31600	201812
3422	15	2:修正	990001	9900000002	201708	2:償還	20181110	20181120	35000	35000	201812

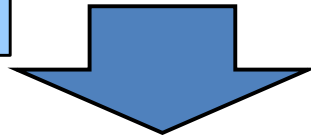
審査年月には保険者にて情報作成した年月を設定する。

修正情報は支給額に変更が発生した場合、提出する。
例えば、同一世帯内で介護予防サービス、総合事業サービスを受給しており、介護給付にかかる年間の高額介護予防サービス費の支給額は変更となったが、総合事業にかかる年間の高額介護（予防）サービス費の支給額に変更がなかった場合、介護給付にかかる年間の高額介護（予防）サービス費の給付実績交換情報のみ提出する。

受付年月日には被保険者から年間高額介護（予防）サービス費の申請を受付けた日を設定する。
決定年月日には保険者にて年間高額介護（予防）サービス費の支給を決定した日を設定する。

支給額には修正後の支給額を設定する。

利用者負担額には修正後の利用者負担額を設定する。



給付実績情報（給付実績交換情報登録後）

入力識別番号	レコード種別番号	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
3412	09	2:修正	990001	9900000001	201708	2:償還	20181110	20181120	478000	31600	201812
3422	15	2:修正	990001	9900000002	201708	2:償還	20181110	20181120	35000	35000	201812

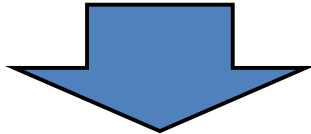
パターン3 年間の高額介護（予防）サービス費給付実績交換情報を提出後、取消情報を提出

●設定内容例

既に提出済である2017年度（2017年8月サービス提供分～2018年7月サービス提供分）の給付実績交換情報に対して取消情報を送付する場合、以下例のとおり提出する。

給付実績情報（登録済情報）

入力識別番号	レコード種別番号	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
3412	09	1:新規	990001	9900000001	201708	2:償還	20181010	20181020	480000	33600	201811
3422	15	1:新規	990001	9900000002	201708	2:償還	20181010	20181020	36000	36000	201811

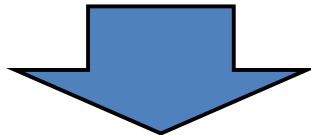


入力情報 給付実績交換情報

入力識別番号	レコード種別コード	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
3412	09	3:取消	990001	9900000001	201708	2:償還	20181010	20181020	480000	33600	
3422	15	3:取消	990001	9900000002	201708	2:償還	20181010	20181020	36000	36000	

取消情報の場合、審査年月の設定は不要。
(設定した場合も正常に登録される)

給付実績情報作成区分コードに「3:取消」を設定する。



給付実績情報（給付実績交換情報登録後）

証記載保険者番号	被保険者番号	給付実績情報作成区分コード	証記載保険者番号	被保険者番号	サービス提供年月	給付実績区分コード	受付年月日	決定年月日	利用者負担額	支給額	審査年月
3412	09	3:取消	990001	9900000001	201708	2:償還	20181010	20181020	480000	33600	201811
3422	15	3:取消	990001	9900000002	201708	2:償還	20181010	20181020	36000	36000	201811